

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品は、定額法により実施している。

館蔵資料については、減価償却を行わない。

(2) 消費税の会計処理は、税込方式とする。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
館蔵資料	128,357,450	0	0	128,357,450
小 計	138,357,450	0	0	138,357,450
特定資産				
公演事業積立資産	0	3,092,864	0	3,092,864
小 計	0	3,092,864	0	3,092,864
合 計	138,357,450	3,092,864	0	141,450,314

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	(10,000,000)	—
館蔵資料	128,357,450	0	(128,357,450)	—
小 計	138,357,450	0	(138,357,450)	—
特定資産				
公演事業積立資産	3,092,864	(3,092,864)	0	—
小 計	3,092,864	(3,092,864)	0	—
合 計	141,450,314	(3,092,864)	(138,357,450)	—

4 担保に供している資産

該当なし

5 関連当事者との取引の内容

該当なし